土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　西父木野川支川3外　通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 構造物基礎

ボーリング名	Bor. No. 2	**調査位置**	広島県神石郡神石高原町父木野地内			**北緯**	34° 39′ 55.4729″
発注機関	広島県東部建設事務所			**調査期間**	2022年 2月 2日 ～ 2022年 2月 4日	**東経**	133° 13′ 49.8621″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 472.04m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 23°
総削孔長	10.00m					**使用機種**	**試錐機** 東邦DO-C
							エンジン ヤンマーNFD-9
							ポンプ 東邦BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
1 2 3 4 5 6	465.54	6.50		玉石混じり粘土質砂礫		暗褐	rd2		完新世	径20mm程度の角礫を多く含む粗砂主体。 基質は粘土分を多く含む。 コア長10～15cmの硬質な転石が不規則に混入。 深度1.50～2.00m間，礫分やや少ないが比較的締まっている。 深度3.00～3.80m間。コア長80cmの硬質な砂岩転石。コアは5～20cmに割れて採取される。
7 8	463.84	8.20		砂岩	CM	淡青灰			ペルム記	岩片～短柱状コア（軟岩II）。 岩片は硬質でやや割れ目が発達。 割れ目は概ね密着するがやや褐色を帯びる。 深度7.40～7.50m，熱水変質部。
9 10	462.04	10.00		砂岩	CH					短柱～棒状コア（中硬岩）。 岩質は硬質でハンマー打診で金属音を発する。 コア肌は滑らかで割れ目は密着する。 珪質な白色細脈が発達する細粒砂岩で傾斜角20° 前後の層理を示す。
11 12 13 14										

孔内水位／測定月日：02/03 3.19；02/04 4.62；02/07

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）：(2, 2, 2)；(4, 9, 37/50)；(5, 3, 4)；(5, 6, 10)；(7, 6, 4)

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6	1.15	2	2	2	6/300		
	1.45						
60	2.15	4	9	37	50/250	250	
	2.40			50			
	3.00	貫入不能			50/0		
	3.00						
12	4.15	5	3	4	12/300		
	4.45						
21	5.15	5	6	10	21/300		
	5.45						
16	6.15	7	5	4	16/300		
	6.45						
	7.00	貫入不能			50/0		
	7.00						
	8.00	貫入不能			50/0		
	8.00						
	9.00	貫入不能			50/0		
	9.00						
	10.00	貫入不能			50/0		
	10.00						

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					2/2
					2/3
					2/4